

事業名 CD		小中学校・総合学習活動推進事業
細分化した事業名		総合学習活動推進事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	中項目	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実	
	小項目	学校教育の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	小学校学習指導要領 学校教育法施行規則
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	各小中学校が創意工夫を凝らし、地域や児童・生徒の発達段階や実態に応じた教育活動を行うことにより、自ら考え体験し問題を解決していく力を養う。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3～6年生 ・中学校1～3年生
これまでの改善経過	毎年度、各小中学校とも特色ある学習内容を展開している。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他 () 総合的な学習の時間において、自然体験等の校外活動や、外部講師を招いた講話等により学習している。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	各学校が積極的に総合的な学習に取り組むことにより、自ら学び、考え、行動する力が育まれる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	2,068	2,331	1,807
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,068	2,331	1,807
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.05	0.05	0.01
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	690	682	72
D	総事業費(A+C) (千円)	2,758	3,013	1,879
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	59 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	校外活動及び外部講師による講話等の実施校数	(校)	7	7	7
成果指標	校外活動及び外部講師による講話等の実施割合	(%) 実施校数/学校数 7校/7校	100	100	100
効率指標	児童・生徒一人当たりのコスト	(円) 事業費/児童数 1,879千円/2,934人	1,000	1,000	640

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 自ら考え体験し問題を解決していく力を養うことや情操教育を推進していくため大切な事業であり、妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 各学校毎に特色ある学習が実施されたことにより、児童の自ら学び、考え、行動する力が育まれている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 人件費を除く事業費は、講師謝礼や需用費に充てられており、コストに見合う取組みが行われている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 現行のとおり	(2)24 年度 現行のとおり	(3)23 年度 現行のとおり
	22 年度の改善計画		
22 年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 引続き、地域の人材を外部講師として活用する。			
課長所見	自ら考え体験し問題を解決していく力を養うことや情操教育を推進していくため大切な事業である。引続き、内容を充実しながら事業を継続していく。		